

平成 26 年 11 月 28 日

港湾局産業港湾課

第 15 回北東アジア港湾局長会議ならびに 第 15 回北東アジア港湾シンポジウムの開催結果について

平成 26 年 11 月 23 日(日)～11 月 25 日(火)の間、第 15 回北東アジア港湾局長会議および第 15 回北東アジア港湾シンポジウムが中国南京市で開催されました。

1. 第 15 回北東アジア港湾局長会議

ボーダレス化する世界経済において、国際物流は重要なテーマとなっており、特に世界の工場といわれている東アジア地域が世界の物流を牽引するまでになっています。その中心となる日中韓の港湾局長等が一同に集まり、第 15 回北東アジア港湾局長会議が中国南京市で開催されました。会議では、まず各国の代表から「港湾の転換とアップグレード」をテーマとして、三カ国から報告があり、活発な意見交換が行われました。日本からは、港湾施設の戦略的な維持管理の取組について紹介を行いました。さらに、作業部会では「北東アジアにおけるマリーナネットワークの構築」、「北東アジアの海上コンテナ輸送における R F I D 活用の促進」、「北東アジアにおけるクルーズ振興」、「沿岸環境の変化と対策の効果」の四つのテーマについて報告が行われました。

なお、北東アジア港湾局長会議は、1995 年から 1999 年の間、年 1 回開催された日韓港湾局長会議をベースに、2000 年より中国が加わり拡大したもので、今回で 15 回目の開催となります。次回の第 16 回北東アジア港湾局長会議は、日本で開催される予定です。

2. 第 15 回北東アジア港湾シンポジウム

局長会議翌日の 11 月 25 日には、第 15 回北東アジア港湾シンポジウムが開催されました。日中韓の官民の港湾関係者が集まり、「グリーンポート開発」及び「港湾と都市の調和のとれた発展」をテーマに三カ国の専門家から発表があり、その後発表者と参加者による熱心な質疑がなされました。また、南京港集団から南京港の紹介がありました。

【問い合わせ先】国土交通省港湾局産業港湾課国際企画室 中嶋、新見

(代表)03-5253-8111 (直通)03-5253-8679 (内線)46464、46463 (FAX)03-5253-1651

第 15 回北東アジア港湾局長会議

(11 月 23 日(日)、24 日(月)中国・南京市、International Conference Hotel of Nanjing)

出席者

- 日本（国土交通省港湾局長 大脇 崇をはじめ 8 名）
- 韓国（海洋水産部釜山港建設事務所長 崔 鳴鏞をはじめ 10 名）
- 中国（交通運輸部水運局副局長 李 天碧をはじめ 14 名）

主要議事

(ア) 「港湾の転換とアップグレード」をテーマとした情報交換

発表者：

日本) 国土交通省港湾局長 大脇 崇

- ・ 港湾施設の戦略的な維持管理

韓国) 海洋水産部釜山港建設事務所長 崔 鳴鏞

- ・ ヨンジョンドリームアイランド計画

中国) 交通運輸部水運局副局長 李 天碧

- ・ 中国における港湾管理の概要

(イ) 共同研究の報告

以下の 4 つのテーマについて、各国より、進捗状況や現状報告を行い、意見交換を実施しました。

- ・ 北東アジアにおけるマリーナネットワークの構築(韓国提案)
- ・ 北東アジアの海上コンテナ輸送における R F I D 活用の促進(中国提案)
- ・ 北東アジアにおけるクルーズ振興(日本提案)
- ・ 沿岸環境の変化と対策の効果(韓国・日本合同)

(ウ) 第 16 回北東アジア港湾局長会議

開催時期、開催場所などについて意見交換を行いました。詳細については次の課長級会合で議論される予定です。

議事録署名

上記内容について 3 国間で署名しました。

今後の予定

来年、第 16 回北東アジア港湾局長会議を日本で、課長級会議を韓国で開催する予定です。

第 15 回北東アジア港湾シンポジウム

(11 月 25 日 (火) 中国・南京市、International Conference Hotel of Nanjing)

参加者

日中韓の官民の港湾関係者合わせて約 150 名 (日本側 約 45 名、中国側 約 60 名、韓国側 約 45 名)

プレゼンテーション

○特別講演：南京港集団 総経理 潘 衛新 氏

「Development of Nanjing port in the background of port-city' s common prosperity and transition & upgrading」

○第 1 部「グリーンポート開発」

・事例発表 1 日本：横浜市温暖化対策統括本部

環境未来都市推進担当理事 信時 正人 氏

「Global marine environment-friendly city

～Blue Carbon challenges of Future City Yokohama～」

・事例発表 2 韓国：韓国海洋水産開発院 物流システム博士 金 羽善 氏

「Study on strategy for establishment of green port」

・事例発表 3 中国：連雲港港口集团有限公司 技術部長 陳 鋼 氏

「Experience on building green port」

○第 2 部「港湾と都市の調和のとれた発展」

・事例発表 4 日本：みなと総合研究財団 理事長 金田 孝之 氏

「The background and way of coordinating development of port and city」

・事例発表 5 韓国：韓国海洋水産開発院 副研究委員 金 槿 攝 氏

「Coordinated development of port and city」

・事例発表 6 中国：天津港集团有限公司 副総裁 王 偉 氏

「Carry forward the port advantage; promote the coordinated development of port and city in new era」



第15回北東アジア港湾局長会議(11月23日、24日開催)
(左から、韓国崔釜山港建設事務所長、中国李水運局副局長、日本大協港湾局長)



第15回北東アジア港湾シンポジウム(11月25日開催)
(左:信時理事、右:金田理事長)